



調べる

考える

解決する

静岡県立中央図書館
本の道しるべ▶▶▶ 6-3

先祖・家系について調べる

「自分のルーツを知りたい」「〇〇家の家系に××という人がいたか調べたい」

御先祖様や家系について調べる場合には、名字（苗字）や家紋などからあたってみると、いろいろなことがわかってきます。そこで、家系調査の手掛かりとなる基本的な資料をご紹介します。

当館は皆様の「調べる」をお手伝いします。ご不明な点がありましたらレファレンスカウンターの職員にお気軽にお尋ねください。



先祖について調べるには？

- ① 先祖・家系調査の方法を知る
- ② 姓氏（名字・苗字）から調べる
- ③ 家紋から調べる
- ④ 系図を調べる

※「本の道しるべ」の下記の号も御参照ください。

6-1「人物について調べる《日本人編》」

6-2「人物について調べる《静岡県編》」

7-1「人名読みについて調べる《日本人編》」

① 先祖や家系調査の方法を知る

姓氏・家系・家紋の調べ方 [新人物往来社 2001年] (当館請求記号 288.2/㉒)

自分の先祖について調べたいが、何から手をつけてよいかわからない方のための入門書です。家系調査の基礎知識や、その探索方法をわかりやすく説明しています。お寺やお墓の調べ方、役場や公共機関の利用の仕方などに加え、一般家庭、商人、農民、武士などの別に実践的な知識を紹介し、更に、家系調査の重要な手掛かりとなる苗字、家紋、地名の基礎知識とその関係について、具体例を交えて詳しく解説しています。調査に行き詰まった時、原点に戻って考え直す時にも役に立ちます。

家系系図の入門 [人物往来社 1967年] (288/133) ★書庫

先祖や家系を調べる様々な方法（親族調査、過去帳等の文献調査、通称や実名の調査、紋章調査、苗字調査、発祥地の調査、系譜や偽系図、伝説信仰などの調査）について、詳しく解説しています。

② 姓氏（名字・苗字）から調べる

姓氏家系大辞典 全3巻 [角川書店 1987年] (288/157) ★参考図書コーナー

全国の姓氏を歴史的仮名遣いの五十音順に収録し、起源、分布、本支の関係などを詳細に解説しています。記述が広範にわたっているため、先祖の出身地域がわからない時などに便利です。ただし、典拠文献の書誌事項は不明な場合があります。

角川日本姓氏歴史人物大辞典 全14巻 [角川書店] (288.1/121) ★参考図書コーナー

岩手、宮城、群馬、神奈川、富山、石川、山梨、長野、静岡、愛知、山口、鹿児島、沖縄の各県及び京都市の各巻が刊行されています。調査対象の地域が限られている場合に有用です。静岡県は第22巻で、第3章の第2部に姓氏編があります。静岡県に多い姓氏を五十音順に収録し、起源、分布及び代表的な家について、典拠文献と共に記載しています。また付録の資料編として、「静岡県の名字の概説」や「静岡県の家紋」等の説明もあります。22巻は地域資料コーナーにもあります。(S288/54)

③ 家紋から調べる

日本家紋総鑑 [角川書店 1993年] (288.6/110)

全国各地の家紋約2万点を347種類に分類し、それぞれの家紋ごとになりたち、かたち、使用家を掲載しています。

都道府県別姓氏家紋大事典 東日本編、西日本編 [柏書房 2004年] (288.6/刵)

各都道府県別に主要な家紋の分布状況を一覧できます。また、各都道府県別に姓氏家紋早見表(全国で約24万件のデータを収録)があり、各県の主要な姓氏について家紋と出自を調べることができます。

④ 系図を調べる

寛政重修諸家譜 全28巻 [続群書類従完成会 1964-1967年]、[八木書店 2010年] (288.2/106)

戦国時代から寛政10(1798)年頃までの諸大名、幕臣(旗本・御目見以上の下士、医者など)約2,100家の系図を掲載しており、約10万人を収録しています。寛永20(1643)年に完成した『寛永諸家系図伝』に続く幕府編纂の系図集で、各家の由緒、事績、家紋のほか、個々人の事績も含まれます。本編は22冊ですが、索引が4冊及び別巻が2冊あり、氏姓(家名)、諱(名前)、称呼(幼名、通称、官職、国名など)、葬地・寺社名、所領・居所から引くことができます。

寛政譜以降旗本家百科事典 全6巻 [東洋書林 1997-1998年] (281.03/刵)

『寛政重修諸家譜』以降、幕末の慶応4(1868)年までの約70年間における、旗本約6,000家、約3万人に関して、家筋単位に五十音順に収録し、それぞれ家禄、役職歴、居住地、本国、家族状況などを記載した資料です。多くの典拠文献がありますが、特に、A『諸向地面取調書』(屋敷改に提出した記録を編集したもの)、B『江戸幕臣人名事典』、C『柳営補任』(江戸幕府の役人の任免記録)の3資料における各人物の記載状況が表になっており、比較して確認することができます。本編は5冊で、第6巻の総索引から人物を探します。

系図纂要 全18巻 [名著出版 1973-1977年] (288.2/104)

安政4(1857)年までの皇室、公家、武家、釈家(仏門)など60姓777家の系図を掲載しており、子女の名前も収載しています。『尊卑分脈』、『諸家系図纂』などの系図類を再構成したものです。本編は15冊ですが、別巻索引が3冊あり、氏姓(家名)、没年、名諱、法名・称号などから引くことができます。当館所蔵のものは影印版ですが、比較的読みやすい文字です。

《当館の蔵書検索システム(OPAC)を使って調べる》

当館では、所蔵する地域資料の一部について、目次の入力を行っています。その中には、具体的な名字(苗字)も多数入っており、「系図」「系譜」「家譜」等の言葉も入っています。

当館蔵書検索システムの検索条件で「全項目」を選び、調査したい名字と、「系図」「系譜」「家譜」などの検索語を入力してみましょう。全国的な系図集に載っていない場合でも、県内各市町村史や、各地域の地誌、郷土史家が調査・作成した資料等にお探しの系図が見つかるかもしれません。

《国立国会図書館のリサーチ・ナビ》

このパスファインダーでご紹介しているのは、たくさんある資料のうちのごく一部です。国立国会図書館には調べ方案内のサイトがあり、この他にも、家系調査の際に役立つ資料がたくさん紹介されています。ご参照ください。

○姓氏・家系 http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101070.php

「調べ方を解説した資料」、「姓氏を調べる」、「家紋を調べる」資料を多数紹介しています。

○日本の系図(系譜)集 http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-148.php

主要な系図(系譜)集と、その内容(収録年代、収録対象など)を紹介しています。